



エレベーターの挟まれ事故について

今回のピックアップ

先日、東京都内の小学校（当社管理外）にて給食配膳用エレベーターの点検中に作業員が死亡する事故が発生しました。

【事故経緯】

小学校校舎の2階にある、給食配膳用エレベーターの点検作業中に何らかの要因により、エレベーターの扉に首のあたりを挟まれ、1時間半後に救助されるも、その場で死亡が確認された。

※点検作業員は2名で訪れていたが、事故当時は点検作業員1名にて作業を行っていた。

事故発生時のイメージ（推測）



エレベーターは1メートル四方で作業員はエレベーター内の給食を置くかごに足を入れ、頭を外に出した状態であった。

【事故のポイント】

事故当日、点検作業員は2名いたが、作業は1名で行っており、また1メートル四方の空間に体を入れて作業を行う等、適正な点検手順や安全対策が行われていなかった可能性が考えられる。



大変痛ましく、残念な事故ですが、我々も改めて作業手順や安全管理について考えないといけないですね。

そうですね。特に手順に関しては『やるべきことをやらなかった』『やってはいけないことをやってしまった』このいずれか、または両方が事故を引き起こす原因となりますので、しっかりとルールを守って作業を行うことを心がけましょう！

